

記入上の注意： 行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合がある。

グローバルリーダーシップ研究所

「若手研究者支援」(A) 海外調査研究 計画調書 (2024年度)

|                          |   |                        |  |
|--------------------------|---|------------------------|--|
| ふりがな<br>名前               |   | 受け入れ教<br>員または指<br>導教員等 |  |
| 所属・身分                    |   |                        |  |
| 現住所                      | 〒 |                        |  |
| 携帯電話番号 (必ず連絡が取れる番号)      |   |                        |  |
| Eメールアドレス (事務局からはここに送信する) |   |                        |  |

(1) 研究計画 (文字サイズ：11pt)

|   |
|---|
| <b>I 研究課題 (40文字以内)</b>  |
|   |
| <b>II 海外調査研究の場所・時期 (期間も含める) ・内容・理由</b><br>(どこに行つて、何をするのか、日本国内の調査では不可能な理由などを含め、実施内容や資料名などを、「時間 (期間を含め、年月日で記載する)」「場所」「内容」「理由」に分けて、具体的に記入) |
| ※出国日と帰国日を正確に記入すること。予定の変更は認められません。   |
|   |

記入上の注意： 行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合がある。

### Ⅲ海外調査研究の目的と必然性

(①今回申請する海外調査研究の目的と必要性、②この調査研究で何をどこまで明らかにしようとするか、③この海外調査に基づく研究の特色や独創的な点、意義)

Ⅳ従来の研究経過・研究成果又は準備状況 (従来の研究業績と関わらせながら、研究の準備状況を記入。本学の他の海外派遣プログラムに申請中もしくは申請予定であれば、そのプログラム名を記載すること。また発表形式も記入すること。)

記入上の注意： 行の増減などによって、各枠の大きさを変更しないこと。もとの形式を変えて記入されている場合は、審査の対象にならない場合がある。

**V 研究業績**（論文、学会発表などの主要な業績5点以内を新しい業績から箇条書きにして列挙。著者（申請者を含む）全員の氏名（最大5名程度）を論文や発表記載と同一の順番で記入。単著・単独発表でも氏名を記載する）

(2) 海外渡航費 **(文字サイズ：11pt)**

| 2024年度 | 申請額 | 千円                  | 渡航費                | 千円 |       |         |
|--------|-----|---------------------|--------------------|----|-------|---------|
| 日時     | 年   | 月                   | 日～                 | 年  | 月     | 日       |
| 航空会社   | ( ) |                     |                    |    |       |         |
| 発着地    | 往路  | ( <sup>日月</sup> / ) | ( <sup>空港名</sup> ) | →  | ( / ) | (乗換 / ) |
|        | 復路  | ( / )               | ( )                | →  | ( / ) | (乗換 / ) |

(3) 指導教員あるいはそれに代わる教員の推薦 **(文字サイズ：11pt)**

- ①申請者の研究計画に基づき、必要な海外研究調査であること
- ②海外研究調査を有意義なものにする優秀な者であることなどについて記入してください（300字以内）。

指導教員名

